

# 酪農学園大学

2026年度 第2期学力入学試験・大学入学  
共通テスト併用型入学試験

## 解答例

科目：生物

(学類：獣医)

解答の公表に当たっては、一義的な解答が示せない場合があるため、  
標準的な解答例を公表することとしております。

2026年度  
略農学園大学

生物解答用紙

[I]

問1	① 生得	② 習得	問2	慣れ(馴化も可)	問3	(b) 脱慣れ	(c) 鋭敏化
問4	シナプス小胞からの神経伝達物質の放出量						20
問5	イ, エ, オ						(19字)

[II]

問1	小問1	褐色対立遺伝子： 1	箇所	白色対立遺伝子： 0	箇所
	小問2	X染色体： ②	Y染色体： ③	常染色体： ④	
	小問3	褐色	75 %		
問2	②, ⑤		問3	④, ⑥	
問4	小問1	①, ⑦	小問2	⑥	
	小問3	16 本	50 %		

[III]

問1	ア 細胞質基質	問2	イ ホスホフルクトキナーゼ	ウ アロステリック
問3	⑤	問4	小問1 フィードバック調節 (フィードバック)	小問2 ①, ③
問5	X ATP	Y クエン酸		
問6	酵素の活性が阻害されることで、解糖系全体の反応速度が低下する。(31字)			
	別解)ホスホフルクトキナーゼが抑制され、解糖系で得られる生成物が減少する。(34字)			

[IV]

問1	① 行動圏	② 群れ	③ 順位制(順位)	④ 共同繁殖
問2	利益が最大： a	最適な縄張り： イ		

[V]

問1	① 適応	② 生殖	③ 地理	④ 同所
問2	自然選択とは無関係に、偶然によって集団内の遺伝子頻度が増加すること。(34字)			
	遺伝学者名	木村資生(きむらもとお)		問3

別解)自然選択などによらずに、偶然が原因で遺伝子頻度が増加すること。(31字)

獣医学類
------

受験番号 (学力・共テ併用型)							
受験番号 (転学類)							

採点	
----	--